

読書活動推進へ向けた取組

1. 学校の概要

- ①所在地 福島県福島市方木田字上原 37
- ②学級数・生徒数 16 クラス・622 人（令和4年4月1日現在）
- ③学校図書館の蔵書数 25,163 冊（令和4年3月31日現在）

2. 取組内容

①生徒が本に親しむ取組

読書会	<p>図書委員会企画として令和2年度から読書会を開催している。図書委員以外も参加可能であり、日時はポスターで告知する。企画と進行は図書部教員と司書が担当する。</p> <p>令和4年度は6月に前期読書会（担当：司書）、11月に後期読書会（担当：図書部教員）の2回を行った。また、不定期で図書委員会の希望者によるミニ読書会（各自おすすめを持ち寄る紹介型読書会）も開催した。</p>
図書館だより「若樹」	<p>司書が発行する「LIBRARY NEWS」とは別に、図書委員がおすすめの本を紹介する図書館だよりを作成し、長期休業前に各クラスにカラーで掲示している。令和4年度は「広報担当」としてカウンター業務とは別に担当者を募り、作文やPOP作成が得意な生徒がそれぞれの好きな本を紹介し、貸出も好調だった。</p>
ブックトーク	<p>1学年図書館オリエンテーションで全クラスに実施した。</p> <p>テーマは「言葉」「エンパシー」など、新1年生向けのものを考えて決める。令和4年度に紹介した本で反応があったのは『月の影、影の海』（小野不由美）、『怖い絵』（中野京子）。</p>
館内・館外展示	<p>○館内展示</p> <p>月1ペースで入れ替えの展示（ミステリ、SF、ホラーなど大きなテーマ）と、週1ペースで入れ替えのカウンター前ミニ展示（「怪物」「ドラえもん」「向日葵」など、2～4冊で作れるテーマ）を展開。</p> <p>○館外展示</p> <p>昇降口前や廊下の掲示板に、新着図書の帯やリクエストカード、読書アンケートの結果（グラフ）などを掲示している。</p>

②学校図書館環境の充実に向けた取組

インターネット利用環境の整備	館内では Wi-Fi の利用が可能。調べ学習授業を図書とインターネット双方で行うことができる。
「ブックログ」ページの開設	令和 4 年度から、ウェブ本棚サービス「ブックログ」に本校の本棚を作成。令和 2 年度以降に本校に所蔵された本を登録し、閲覧や検索ができるようにしている（検索はブラウザ版のみ）。 QR コードで生徒が自宅から閲覧できるほか、館内に設置したタブレットで見られることもできる。
未登録図書のデータ化、除籍	令和元年度からデータ化を開始。この作業により、令和 3 年度からすべての貸出返却をバーコード管理することができ、④に挙げた貸出図書ランキングの集計ができるようになった。

③読書活動の質の向上へ向けた取組

推薦図書リスト	授業担当教員からの依頼に応じ、推薦図書リストを作成。 リストの本は来館して借りることができるが、現在流通している本・比較的安価な本を選んでいるので、生徒が自分で購入する際の参考ブックリストとしても使うことができる。 令和 3 年度 進路に関連する新書 77 冊のリスト 令和 4 年度 SDGs ブックリスト（探究学習） 修学旅行に向けて、京都・大阪・奈良に関連する図書のリスト（夏休みの読書課題）
探究学習のための調べ方ガイダンス	2 学年に実施。調べるツールとしての図書とインターネットの違い、典拠の重要性と引用・参考文献の書き方などを講義した。 令和 4 年度は Google Meet によるオンラインで行った。

④その他

新着図書案内	随時発行の「LIBRARY NEWS」と本校ホームページでの情報提供によって、購入した図書のタイトルを全校生徒に周知することを徹底している。
図書館報発行	福島県高等学校司書研修会の「高校生の読書アンケート」の本校分の結果や、図書館の利用統計、図書委員会の活動報告をまとめ、毎年 3 月に発行している。
貸出図書ランキング	夏休み前（上半期）、年度末（年間）の貸出図書ランキングを作成、図書館内外で展示と掲示をしている。